

高岡市の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
令和3年度(2021)～令和12年度(2030)

本市は、万葉の歌人・大伴家持が越中国守として国府に赴任し、多くの秀歌を詠むなどした万葉の故地である。また、慶長14年(1609)には、前田利長により高岡城の城下町として開町され、前田利常による“城下町から商工業の町へ”の政策の転換により、大きな発展を遂げた。

現在も、伝統的な建築形式をもつ町家など歴史的建造物が多く保存されており、「高岡御車山祭」や「伏木曳山祭」などの祭礼・年中行事、鍔物づくりや菅笠づくりなどの歴史と伝統を反映した工芸技術等が現代にも受け継がれており、周辺の市街地と一体となって固有の歴史的風致を形成している。

1 加賀前田家と商人のまちに見る歴史的風致

商人町である高岡には、豪華絢爛な高岡御車山祭が守り伝えられ、また、瑞龍寺と前田利長墓所では、前田利長公顕彰祭が執り行われており、それらが、商都高岡の積み重ねてきた歴史と伝統、町立て以来受け継がれてきた町民たちの熱い思いが現代に受け継がれている。

高岡御車山祭 ▶



2 鍔物のまち金屋に見る歴史的風致

高岡鍔物発祥の地である金屋町には、利長に報恩感謝の念を表す御印祭があり、弥栄節を歌う様が、伝統的な町家が多く残されている町並みと相まって、鍔物師たちの心意気と情緒を醸し出している。

御印祭 ▶



3 北の玄関口伏木・吉久と祭礼行事に見る歴史的風致

伏木には、「かつちゃ」と呼ばれる山車をぶつけ合う勇壮な伏木曳山祭(けんか山)があり、みなと町らしさが色濃く残っている。また、御蔵のあった吉久には、伝統的な町家が米商で栄えた歴史を今に伝えている。どちらも舟運によって発展してきた地区である。

伏木曳山祭 ▶



4 勝興寺と寺内町に見る歴史的風致

勝興寺では、古くから御満座法要などの行事が地域の人々の手によって執り行われており、準備や後片付けには、地元自治会など関係者らが集まり、お供え物やデカローソクの運搬などを行っている。

御満座法要 ▶



5 旧北陸道における越中福岡の菅笠づくり及び祭礼行事等に見る歴史的風致

旧北陸道には、特産品の集散地として発展した在郷町があり、そのなかでも福岡町は、菅笠づくりが今なお続いており、町並みにはかつての菅笠問屋であった伝統的な町家が残されている。

菅笠 ▶



6 越中国府関連遺跡と氣多神社に見る歴史的風致

氣多神社にて奉納される「にらみ獅子」は、天狗がいないことが大きな特徴で、昔から伝承されている素朴な獅子舞である。祭礼行事では、囃子方の音色にあわせ舞う獅子が地区内の家々を巡る。

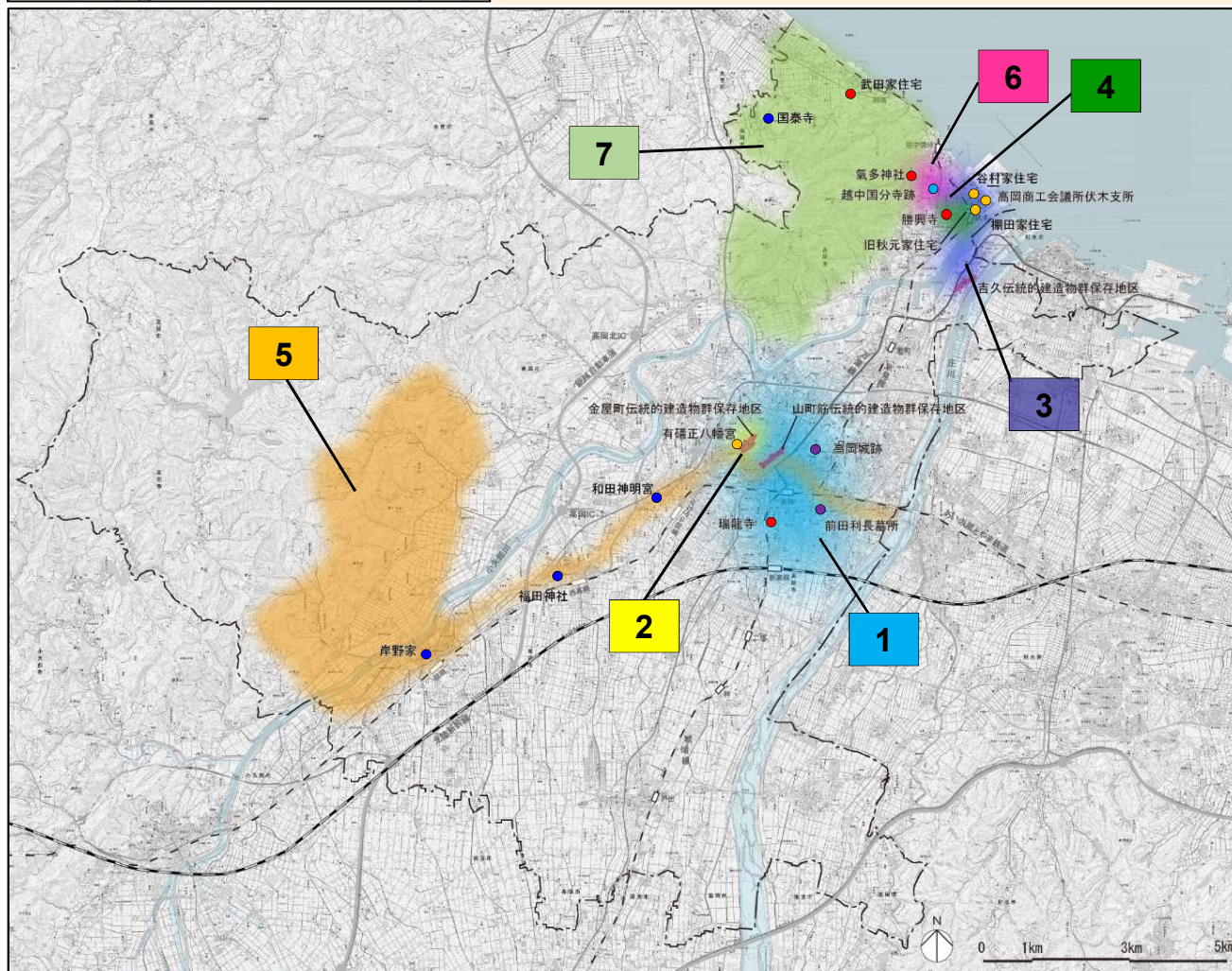
にらみ獅子 ▶



7 二上山丘陵に見る歴史的風致

二上山を中心とし、国泰寺では開山忌やたけのこ料理、二上射水神社では築山行事が催されており、二上山丘陵を舞台に人々の活動が継承され、それぞれで培われてきた文化が発展し現代に受け継がれている。

二上山 ▶



高岡市の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称(1)旧高岡町往来地区、(2)伏木・吉久地区、(3)太田地区
重点区域の面積(1)約308ha、(2)約213ha、(3)約43ha

重点区域において、歴史と伝統を反映した工芸技術及び地域固有の祭礼・年中行事等の継承と育成や歴史的建造物等の積極的な保存と活用、歴史的風致を形成する歴史的な町並みの保全と周辺環境の調和の方針に基づいた事業を実施し、歴史的風致の維持及び向上を図る。

① 歴史と伝統を反映した工芸技術及び地域固有の祭礼・年中行事等の継承と育成

1 高岡御車山保存修理事業

重要有形民俗文化財である「高岡御車山祭」の山車は、金工技術や漆工技術などの工芸技術が結集したものである。この山車について保存修理を実施し、それらの工芸技術等の継承につなげるものである。

高岡御車山祭の様子 ▶



② 歴史的建造物等の積極的な保存と活用

10 市内町家等再生事業

登録有形文化財をはじめとする市内の町家等を歴史的風致形成建造物に指定し、修理を実施し、歴史的建造物の保存と活用を図るものである。

歴史的風致形成建造物の例 ▶



③ 歴史的風致を形成する歴史的な町並みの保全と周辺環境の調和

14 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業

重要伝統的建造物群保存地区である山町筋、金屋町、吉久において、伝統的建造物の修理や非伝統的建造物の修景事業を実施し、歴史的な町並みの保全を図るものである。

吉久伝統的建造物群保存地区 ▶

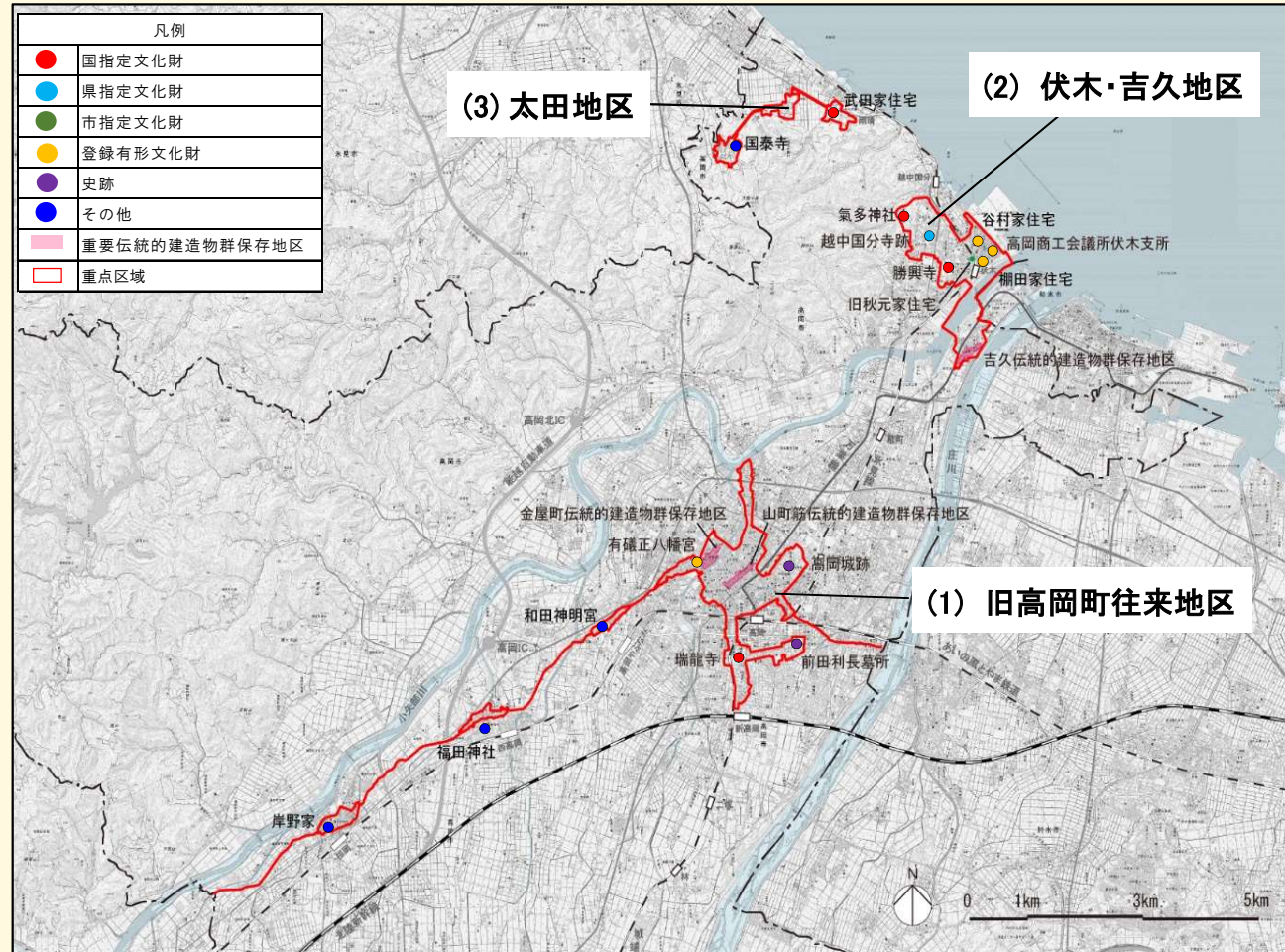


④ その他、歴史的風致の維持向上に寄与するもの

30 ストリート整備事業

ストリート構想に位置付けられている通りにおいて、関係する歴史的風致を堪能できるようなルートを設定し、最新技術等を用いてその地域の歴史や文化に触れる機会を提供することで、「歩いて楽しいまちづくり」の推進を図る。

ストリート構想に位置付けられている通り ▶



各重点区域で実施する事業

(1) 旧高岡町往来地区

- 1 高岡御車山保存修理事業
- 2 菅笠保全対策事業
- 9 前田利長墓所整備事業
- 11 金屋鋳物師町交流館整備事業
- 12 高岡城跡保存整備事業
- 14 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業
- 15 県道岡笹川線道路整備事業
- 18 町並み保存・都市景観形成補助事業
- 19 「赤レンガ建物」利活用事業
- 21 ミラレ金屋町開催事業
- 23 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業

(2) 伏木・吉久地区

- 13 勝興寺公開活用事業
- 14 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業
- 16 勝興寺寺内町道路修景整備事業
- 17 吉久地区道路修景整備事業
- 28 万葉歴史館展示室魅力向上事業
- 29 越中国府関連遺跡調査事業

(3) 太田地区

- 10 市内町家等再生事業

重点区域全体で実施する事業

- 3 次世代ものづくり人材育成事業
- 4 創業・事業承継支援補助事業
- 5 文化財等修理補助事業
- 6 ものづくり・デザイン科推進事業
- 7 祭行事・イベント振興事業
- 8 コミュニティ助成事業
- 10 市内町家等再生事業
- 20 前田家関連史跡調査事業
- 22 獅子舞大競演会開催事業
- 24 「高岡再発見」プログラム事業
- 25 新たな芸術・文化総事業
- 26 日本遺産魅力発信推進事業
- 27 「高岡の歴史文化に親しむ日」に関する作品募集事業
- 30 ストリート整備事業
- 31 どこでもステージ事業